

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	1グループ(6人)	教科等名	数学
年間授業時数		36	使用教室	1-5教室			使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員		金曜日	4時間目 (11:30~12:20)	MT	齊藤 彩音	ST	藤井 幹一郎、山本 弘美	
				MT		ST		
ねらい	(1)	形(円、三角、四角)、大きさ(大中小)、長さ(長短)の違いに気付き、弁別できるようになる。						
	(2)	図形を上位概念(三角形など)や下位概念(正三角形、二等辺三角形など)の違いを理解し、分類できるようになる。						
	(3)	1対1対応や数字、数詞と具体物の一致ができるようになる(1~5、1~10)。数量の違いを理解する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容		ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な色(2色)の弁別 基本的な形(円、三角、四角)の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 はめやすい型から行う。 	
	弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう	5	4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な色(2色)の弁別 基本的な形(円、三角、四角)の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 はめやすい型から行う。 	
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう	6	4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な色(3色)の弁別 基本的な形(円、三角、四角)の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 はめやすい型から行う。 	
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう	7	3	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な色(3色)の弁別 基本的な形(円、三角、四角)の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 はめやすい型から行う。 	
2 学期	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム	9	4	<ul style="list-style-type: none"> 1から5まで 		<ul style="list-style-type: none"> 数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 数字を指さしながら1から5まで数唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は、教員が数唱しながら模範を示す。 最初の数だけ言うなど段階的に確実に学習を進める。 	
	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム	10	5	<ul style="list-style-type: none"> 1から5まで 		<ul style="list-style-type: none"> 数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 数字を指さしながら1から5まで数唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を操作することで、理解しやすくする。 	
	数唱と数字 具体物と数字の一致 金銭	11	3	<ul style="list-style-type: none"> 1から10まで 硬貨の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 数字を指さしながら1から10まで数唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。 	
	数唱と数字 具体物と数字の一致 買い物学習	12	2	<ul style="list-style-type: none"> 1から10まで 硬貨の弁別 		<ul style="list-style-type: none"> 数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 数字を指さしながら1から10まで数唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。 	
3 学期	具体物と数字の一致 数量 重さの計測	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 1から10まで 多い、少ない 長い、短い 		<ul style="list-style-type: none"> 数字のないタイルを横に並べ、数唱し数える。 タイルの個数と同じ数字を、数字タイルから選ぶ。 重さの比較をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。 	
	具体物と数字の一致 数量 長さの計測	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 1から10まで 多い、少ない 長い、短い 		<ul style="list-style-type: none"> 2つのトレイに1から5の数の違うタイルを入れる。 タイルの個数を数える。 長さの比較をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。 	
	1年間のまとめ	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習の振り返り 		<ul style="list-style-type: none"> 1年間の確認を行い、再度振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回行った展開を同様に考える。 	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	2グループ(7人)	教科等名	数学
年間授業時数	35	使用教室	1-4教室			使用教科書	
曜日・校時 担当教員	火曜日	2時間目 (9:40~10:30)	MT	川崎 剛	ST	齋藤 彩音、高橋 亜希美、	
			MT		ST		

ねらい

- (1) お金や時計、暦などの基本が分かり、生活の中で活用できる。
- (2) 基本的な加法の計算、数・量に関する問題を繰り返し行い、基本的な知識を身につける。
- (3) 集団の中で行動する力を伸ばし、意欲的・自主的に行動できるようにする。

学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	指導の手だて
1 学期	オリエンテーション	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の指導内容の説明 ・暦、計算、金銭、時計等 ※暦、計算は、通年 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の授業の予定や内容を把握する。 ・昨年度までの学習の理解度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材教具を使って、大まかな一年間の授業内容を具体的に伝える。 ・様々な教材を使って、アセスメントをとる。
	時刻を知ろう	5 6	8	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻、時間、○分前、○分後、時刻表 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計を読むことができる。 ・日常生活の時刻がわかる。 ・時刻から時刻表を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬時計の針を動かすことで、理解を深める。 ・身近な時間割や時刻表などを題材にする。また、タブレットなどを活用する。
	簡単なゲーム	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ダーツやボウリングなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・表に得点を記入し、合計を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいゲームを用意し、興味関心をもてるようにする。
2 学期	金銭	9 10	8	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習 ・簡単なお小遣い帳 	<ul style="list-style-type: none"> ・1円、10円、100円を使って、ちようどの金額を支払うことができる。 ・移動教室のお小遣い帳をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のお金を使用する。 ・補助シートを使って、硬貨を数える支援をする。
	いろいろな長さを測ろう	11 12	6	<ul style="list-style-type: none"> ・長い短いの理解 ・定規の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の長さを比較し、長い短い分かる。 ・定規の計測の仕方を理解し、長さをcm単位で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな物を比べたり、測ったりする。 ・始点、終点を意識できるように、補助する。
3 学期	合計を求めよう	1 2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の和 ・合計金額 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓を使って、2つの数の和を求めることができる。 ・商品の金額を見て、合計金額を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓の扱い方を一つずつ説明し、反復練習をする。 ・写真カードを使用する。
	まとめ	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で学習したことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で学習したことを繰り返し、理解を深める。

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	3グループ(8人)	教科等名	数学
年間授業時数	36	使用教室	1-2教室	使用教科書			
曜日・校時 担当教員	水曜日	2時間目(9:40~10:30)	MT	高橋亜希美	ST		
			MT		ST		
ねらい	(1) 生活に活かせる加減乗除の計算技術を反復して身に付ける。						
	(2) 日常生活で活かせる、金銭、時刻・時間、量について理解できる。						
	(3) 様々な図形について特徴を理解し分別できる。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1学期	四則計算 数量の比較	4	通年	・暗算 ・筆算 ・グラフ	・数量の処理の仕方を理解し、なれる。 ・折れ線グラフを作成でき、数値の比較ができる。	・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。	
			3	・オリエンテーション	・年間で学習する内容の見通しをもつ。	・学期ごとに学習する項目を整理して理解しやすくする。	
	時刻、時間	5	4	・時刻表の読み取り ・前後の時間計算	・時刻を正しく読む。 ・時間の計算の仕方を理解する。	・具体的に時計の針を動かして、理解しやすくする。 ・生活の中での利用に結び付け、イメージしやすくする。	
	概数	6	4	・数の切り上げ	・それぞれの位での切り上げができる。	・年齢や人数といった身近なデータを用意し、イメージしやすくする。	
	金銭	7	3	・支払い、お釣りの計算	・数値で示したちよほどの金額を支払える。 ・概数を使用した支払いで、お釣りの計算ができる。	・模擬硬貨を使用し、イメージしやすくする。 ・数字が大きくなった時は計算機を使用する。	
2学期	平面図形	9	4	・平面図形の名前と特徴	・図形の名称、特徴を理解できる。	・作図を通して理解する。	
	空間図形	10	5	・立体を積む、並べる	・空間に立体がいくつあるか数えられる。	・円柱やブロックの具体物を使用する。	
			11	3	・立体図形の展開図	・立体図形の展開図を作図できる。	・作成された展開図を組み立て、立体からの展開図をイメージしやすくする。
	数量の変化	12	2	・グラフの種類と特徴	・グラフの種類と特徴を理解できる。	・グラフを作成することで理解につなげる。	
3学期	長さ	1	2	・計測、計算	・計測した長さについて数値で表し、加減法で計算できる。	・メジャーを使用し、視覚的に理解しやすくする。	
	文章問題	2	4	・文章問題での立式	・文章を読んで簡単な四則計算の式を立てられる。	・四則計算のどれになるかを考えることに重きを置くため、立式のみ行う。計算は計算機を使用する。	
	まとめ	3	2	・時刻、時間 ・金銭 ・図形	・1年間行った内容を振り返り、再度理解できる。	・前回行った内容と同じ展開で振り返る。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	4グループ(8人)	教科等名	数学
年間授業時数		35		使用教室	1-1教室		使用教科書	
曜日・校時 担当教員		火曜日	2時間目(9:40~10:30)		MT	藤井幹一郎	ST	
				MT		ST		
ね ら い	(1) 生活に活かせる加減乗除の計算技術を反復して身に付ける。							
	(2) 日常生活で活かせる、金銭、時刻・時間、量について理解できる。							
	(3) 様々な図形について特徴を理解し分別できる。							
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい		手だて	
1 学 期	四則計算 数量の比較	4	通年	・暗算 ・筆算 ・グラフ	・数量の処理の仕方を理解し、なれる。 ・折れ線グラフを作成でき、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。	
			4	・オリエンテーション	・年間で学習する内容の見直しをもつ。		・学期ごとに学習する項目を整理して理解しやすくする。	
	時刻、時間	5	4	・時刻表を読み取り。 ・前後の時間計算	・時刻を正しく読める。 ・時間の計算の仕方を理解する。		・具体的に時計の針を動かして、理解しやすくする。 ・生活の中での利用に結び付け、イメージしやすくする。	
	概数	6	4	・数の切り上げ	・それぞれの位での切り上げができる。		・年齢や人数といった身近なデータを用意し、イメージしやすくする。	
	金銭	7	3	・支払い、お釣りの計算	・数値で示したちよほどの金額を支払える。 ・概数を使用した支払いで、お釣りの計算ができる。		・模擬硬貨を使用し、イメージしやすくする。 ・数字が大きくなった時は計算機を使用する。	
2 学 期	平面図形	9	4	・平面図形の名前と特徴	・図形の名称、特徴を理解できる。		・作図を通して理解するようにする。	
	空間図形	10	4	・立体を積む、並べる	・空間に立体がいくつあるか数えられる。		・円柱やブロックの具体物を使用する。	
		11	3	・立体図形の展開図	・立体図形の展開図を作図できる。		・作成された展開図を組み立て、立体からの展開図をイメージしやすくする。	
	数量の変化	12	3	・グラフの種類と特徴	・グラフの種類と特徴を理解できる。		・グラフを作成することで理解につなげる。	
3 学 期	長さ	1	1	・計測、計算	・計測した長さについて数値で表し、加減法で計算できる。		・メジャーを使用し、視覚的に理解しやすくする。	
	文章問題	2	2	・文章問題での立式	・文章を読んで簡単な四則計算の式を立てられる。		・四則計算のどれになるかを考えることに重きを置くため、立式のみ行う。計算は計算機を使用する。	
	まとめ	3	3	・時刻、時間 ・金銭 ・図形	・1年間行った内容を振り返り、再度理解できる。		・前回行った内容と同じ展開で振り返る。	

令和 年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	重度・重複(3人)	教科等名	数学	
年間授業時数	66	使用教室	1-3教室	使用教科書			なし	
曜日・校時 担当教員	月曜日	5時間目 (13:15~14:05)	MT	宍戸星鈴	ST	久保田良一		
	水曜日	3時間目 (10:35~11:25)	MT	宍戸星鈴	ST	池田尚央		
ねらい	(1)	形(円、三角、四角)、大きさ(大中小)、長さ(長短)の違いに気付き、弁別できるようになる。						
	(2)	図形を上位概念(三角形など)や下位概念(正三角形、二等辺三角形など)の違いを理解し、分類できるようになる。						
	(3)	1対1対応や数字、数詞と具体物の一致ができるようになる(1~5、1~10)。数量の違いを理解する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて		
1 学期	オリエンテーション 弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう	4	5	・基本的な色(2色)の弁別 ・基本的な形(円、三角、四角)の弁別	・2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。	・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。		
	弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう	5	5	・基本的な色(2色)の弁別 ・基本的な形(円、三角、四角)の弁別	・2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。	・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。		
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう	6	8	・基本的な色(3色)の弁別 ・基本的な形(円、三角、四角)の弁別	・2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。	・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。		
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう	7	6	・基本的な色(3色)の弁別 ・基本的な形(円、三角、四角)の弁別	・2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。	・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。		
2 学期	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム	9	7	・1から5まで	・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。	・最初は、教員が数唱しながら模範を示す。 ・最初の数だけ言うなど段階的に確実に学習を進める。		
	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム	10	8	・1から5まで	・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。	・具体物を操作することで、理解しやすくする。		
	数唱と数字 具体物と数字の一致 金銭	11	5	・1から10まで ・硬貨の弁別	・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。	・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。		
	数唱と数字 具体物と数字の一致 買い物学習	12	6	・1から10まで ・硬貨の弁別	・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。	・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。		
3 学期	具体物と数字の一致 数量 重さの計測	1	3	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い	・数字のないタイルを横に並べ、数唱し数える。 ・タイルの個数と同じ数字を、数字タイルから選ぶ。 ・重さの比較をする。	・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。		
	具体物と数字の一致 数量 長さの計測	2	6	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い	・2つのトレイに1から5の数の違うタイルを入れる。 ・タイルの個数を数える。 ・長さの比較をする。	・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。		
	1年間のまとめ	3	7	・今までの学習の振り返り	・1年間の確認を行い、再度振り返る。	・前回行った展開を同様に考える。		